

ヨブ記、箴言、伝道の書結晶の学び#1:ヨブ記の大いなる

質問と大いなる答え 2/1-7 OL Summary: I. ヨブ記の四

十二の章は、私たちに大いなる質問を残します。この質問には二つの部分があります。すなわち、神が人を創造した目的は何でしょうか？そして神が彼の選ばれた民を対処する目的は何でしょうか？**A.**ヨブは神にこう言いました、「なぜあなたが私と争われるのか、知らせてください」(ヨブ10:2b)。「あなたはこれらの事を、あなたの心に秘めておられました。私は、これがあなたと共にあるのを知っています」(13節)。**B.**ヨブは、神が自分を対処する理由を見いだすことができなかつたが、神の心には秘められたいくつかの理由があるに違いないと信じたということです。神の心に秘められていた事は、各時代の奥義、神の永遠のエコノミーでした。**II.**この大いなる質問に対する大いなる答えは、神の中に各時代にわたって隠されてきた奥義、神の永遠のエコノミーです。神の永遠のエコノミーとは、神の永遠の意図と神の心の願いであって、それはご自身を神聖な三一において、御父として、御子の中で、その霊によって彼の選ばれた人々の中へと分与して、彼らの命また性質とならせることです。それによって、彼らは有機体、新しい人としてのキリストのからだとなり、また神の豊満、神の表現となつて、新エルサレムにおいて究極的に完成します。**A.**ヨブと彼の友は、ヨブが苦難を受けているのは神の裁きの事柄であると思ひました。しかしながら、ヨブの苦難は神の裁きではなく、神が彼をはぎ取り、消耗し尽くすことでした。それは神がヨブを獲得し、ヨブが神をさらに獲得するためでした。**B.**神はヨブをはぎ取っていましたが、確かにヨブに対して怒っているのではありませんでした。神はヨブを仇と考えていたのでもなく、ご自身の親密な友と考えました。**C.**神は、ヨブが苦難の時を経過した後、神聖な三一をもって再建されることを知っていました。それはヨブが別の人、すなわち、新しい人、新創造となつて、神の永遠のエコノミーを完成し、神を表現することができるためです。**D.**私たちは聖書を読むとき、神聖な分与のための神の永遠のエコノミーに注意を集中させる必要があります。私たちは神のエコノミーを認識することがない限り、聖書を理解することはないでしょう。ヨブに対する神の意図は、ヨブを、神の神聖なエコノミーにしたがつて、神をもって構成された神の人とすることでした。』

III.ヨブの基本的な問題は、ヨブが神に欠けていたことでした。ヨブに対する神のすべての対処の意図は、ヨブを減少させて無にならせつつも、彼の生存を保つことでした。それは神がご自身をヨブの中へと分け与える時間を持つためでした。神は一つの事だけを顧慮しています。それは、彼ご自身を私たちの中へと造り込むことです。

A.ヨブは自らを義しい者とし、自分の状態に満足していましたが、自分が神の御前でみじめな状況にあることに気づいていませんでした。**B.**ヨブの栄光は彼の完全さと正しさであり、彼の冠は彼の高潔さでした。神はヨブの栄光を彼からはぎ取り、冠を彼の頭から取り去りました。ヨブの望みは、彼の高潔さという「木」を建て上げることでしたが、神はそのような木がヨブの内側で生長することを許しませんでした。むしろ、神はこの木、すなわち、この望みを引き抜きました。それはヨブが神を獲得する領域の中へともたらされるためでした。**C.**神は、ヨブが間違つ

た領域にいるのを知らせることを願いました。この領域は、彼の完全さ、正しさ、高潔さにおいて、旧創造にある人としての彼自身を建て上げる領域です。ヨブはこれらのことで自分を栄光ある者とししました。しかし神は、それらが妨げであつて、はぎ取られるべきであると考えました。それは、ヨブが神の性質、命、要素、本質を受け入れ、こうして新陳代謝的に造り変えられて、神・人、すなわち新創造の中で神を表現し、神を他の人の中へと分与する人となるためでした。**D.**ヨブに対する神の意図は、完全さと正しさにおける天然のヨブを取り壊し、神が神の性質と属性において新しくされたヨブを建て上げることでした。聖霊の管理は、私たちの天然の存在を取り壊して、新しくされた存在を構成します。**E.**私たちの内側でのその霊の働きは、私たちのために新しい存在を構成することであるのに対して、外側でのその霊の働きは、私たちの環境を通して、私たちの天然の存在のあらゆる面を取り壊すことです。私たちは、活動する霊と協力して、神が私たちのために案配した環境を受け入れるべきです。**F.**この宇宙における苦難の主要な目的は、特に神の子供たちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれ、最も満ち満ちた程度にまで人が神を獲得することです。』**IV.**人を神化し、神のエコノミーを完成し、神の団体的な表現を持つという三一の神の行動は、ミングリングされた霊の中に完全にあります。このミングリングされた霊は、神聖な霊と私たちの人の霊がミングリングされて、一となったものです。**A.**私たちはクリスチャン生活において、霊によって生き、霊によって歩くべきです。私たちが行なうすべて、私たちであるすべては、霊によって、霊をもって、霊の中で、霊を通してであるべきです。こうして、私たちは自分の霊を顧慮し、霊を活用することによってあらゆることを行なつて、神聖な霊が私たちの中に生きること、私たちの中にご自身のホームを造ること、私たちを造り変えることを経験する必要があります。**B.**私たちはすべてを含む霊から離れて、いかなる行動も取るべきではありません。私たちはその霊から離れて、いかなる境遇にも直面したり、いかなる必要にも応じたりすべきではありません。私たちは、私たちの霊の中で神聖な霊に触れることを学ばなければなりません。**C.**クリスチャンと勝利者になることは単に難しいだけでなく、不可能です。私たちの中の、すべてを含む霊として、私たちの中に生きている、手順を経て究極的に完成された三一の神だけが、クリスチャンと勝利者になることができます。**D.**私たちはあらゆることをその霊にしたがつて行なう限り、キリストの肉体と成ること、人の生活、死、復活、昇天とその霊の注ぎ出しを経験することができます。**V.**神がヨブに現れた時、ヨブは神を見て、彼の個人的な経験において神を獲得し、自分を忌み嫌いました。**A.**私たちの神は今日、手順を経て究極的に完成された三一の神の究極的完成としてのすべてを含む霊です。**B.**私たちは神を見るために、私たちの霊を活用しなければなりません。**C.**私たちは神を見るために、私たちの心に対処しなければなりません。**VI.**神がご自身を愛する者を対処する目的は、彼らが神以外のすべてを失うことを超越して、最も満ち満ちた程度にまで神を獲得することであり、また神が彼らを通して表現されて、神が人を創造した目的が成就されることです。

CP1:神がヨブをはぎ取り、消耗させたのは、彼が善悪知識から解放され、三一の神をもって再建されるためである

OL1:ヨブ記の四十二の章は、私たちに大なる質問を残します。この質問には二つの部分があります。すなわち、神が人を創造した目的は何でしょうか？そして神が彼の選ばれた民を対処する目的は何でしょうか？

エペソ3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミーが何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、**1テモテ1:3-4** ある人たちが異なる事を教えたり、作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい。そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミーではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。

OL2:ヨブは神にこう言いました、「なぜあなたが私と争われるのか、知らせてください」(ヨブ10:2b)。「あなたはこれらの事を、あなたの心に秘めておられました。私は、これがあなたと共にあるのを知っています」(13節)。

OL3:私たちは聖書を読むとき、神聖な分与のための神の永遠のエコノミーに注意を集中させる必要があります。私たちは神のエコノミーを認識することがない限り、聖書を理解することはないでしょう。ヨブに対する神の意図は、ヨブを、神の神聖なエコノミーにしたがって、神をもって構成された神の人とすることでした。

新約はヨブに対する神の答えです。それは神からヨブへのメッセージであると言ってよいでしょう。このメッセージの答えが啓示しているのは、神はヨブを裁いたり罰したりしていたのではなく、彼をはぎ取り、消耗させて、ヨブが三一の神をもって再建されることができるようになったということです。無数の人々が新約を読んでいますが、それが含む答えを理解する者は多くありません。

ヨブの三人の友は、神が彼の民を対処する目的について正しくありませんでした。なぜなら、彼らの観念は、善悪の原則、善悪知識の木に基づいていたからです。それは、主要な路線としての命の木のそばにある脇道です。

ヨブは、彼の観念が大体において、善悪の原則に基づいていなかったのが正しかったのです。しかしながら、彼は、神がご自身の民を対処する目的に関して手探りしていました。消極的な面で、彼は正しかったのです。積極的な面で、ヨブは神聖な啓示に欠けており、神が彼の民を対処する目的が、神の民が他のどのようなものでもなく、ますます神を獲得し、神にあずかり、神を所有し、神を享受することを、神が願っておられることであることを知りませんでした。

神がすべての物質の祝福をもってヨブを祝福したことは、ヨブの晩年における神の慈愛と信実を彼に見せるためでした。これは、神が彼を愛する者を対処することで、完全に慈しみがあることを示します。今日でさえ、神は私たちをはぎ取り消耗させることによって私たちが対処した後、また彼の目的が達成された後、私たちに彼の物質の祝福を与えられます。しかしながら、神が彼の民を対処する目的は、彼らに物質の祝福を与えることではなく、ご自身を彼らの永遠の分け前として与えることであり、この分け前は最終的に新エルサレムにおいて究極的に完成します。

適用:新人及び青少年・大学生編

Ⅱコリント4:7しかし、私たちはこの宝を土の器の中に持っています。それは、この卓越した力が神のものであって、私たちからではないことが現れるためです。FN「**土の器**」:この宝を入れている私たちは、土の器であり、価値がなく、もろいものです。極めて尊い宝が、価値のない器の中に入れられているのです!この宝は、その価値のない器を、極めて尊い務めをなす新契約の奉仕者となりました。それは、復活の中の神聖な力によって成就しました。その卓越した力は、確かに神のものであって、私たちからではありません。FN「**宝**」:この宝、内住のキリストは、私たち、土の器の中にあります。これは、クリスチャン生活の神聖な供給の源です。新契約の奉仕者としての使徒たちが、十字架につけられた生活をして、彼らが供給しているキリストの復活の命が現されることができるのは、この宝の卓越した力によってです。このようにして、彼らは真理を表明し、福音を輝かせました。

神のエコノミーとは、神の人に対する計画と計画の実施です。人は土くれから造られました。人の物質の体の成分は土くれと同じであり、人は葬られると土にかえります。人は土の器としてそれ自身には価値がありませんが、極めて尊い宝、キリストが、価値のない器の中に入れられているのです。この内住のキリストが、クリスチャン生活の神聖な供給の源であり、キリストを表現し、キリストを他の人に分与する力です。あなたはこのような神のエコノミーと神の分与を理解し、献身して自分自身を全生涯その中に留めてください。

学生であればクラスメイトや先生との人間関係において、社会人であれば会社の同僚や上司との人間関係において、内住のキリストからのずば抜けて偉大な供給を経験することができます。例えば、あなたは自分が先生に嫌われていると感じるとき、嫌になり、やる気をなくします。あなたがこのように反応することは自然で、容易です。しかし、あなたの内側にずば抜けた力があり、あなたが忍耐して、人を尊重し、愛し、許し合い、受け入れ合い、人間関係を建造する力があります。霊に戻り、心を開き、主の御名を呼び求めてください。そうすれば、サタンが分裂を誘うために、「あなたは本当に、先生に嫌われている。あなたはもうこのクラスで望みがない」などと言ってきても、それに対抗して立ち、「**悪魔サタン、お前は嘘つきの父であり、神の敵である。従って、私はいつもお前に敵対して語る、『サタンよ、退け!』**」と信仰を持って宣言することができます。サタンはいつも人々が不和で対立するように、昼も夜も訴えてきます。しかし、あなたは主の中で互いに理解し、許し合い、和解し、一つにまとめることができます。これが主の中で主を経験し、主を表現し、主を代表することです。

祈り:「**おお主イエスよ、神が人を創造した目的は、人を器として、その中に尊い宝であるキリストを入れて神で満たし、神を表現させるためです。私の中に生きておられる尊い宝であるキリストは、神聖な生活を持つための供給の源です。はぎ取り、消耗させられる環境は、私ますます神を獲得し、神にあずかり、神を所有し、神を享受するためであることを知りました。辛い中でも落胆せず、主に仰ぎ見、主に信賴し、主を獲得します。**」

CP2:神はただ一つの事、すなわち彼ご自身を私たちの中へと造り込むことだけを顧慮しておられる

OL1:神がヨブを対処することは、ヨブを倫理の領域から、神を獲得する領域の中へともたすことでした。それは、ヨブが倫理における完全さを追い求めることから、その他のどんなものでもなく、神を追い求め獲得することに向きを変えるためでした。ヨハネ10:10 私が出来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。Iコリント15:45 最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

ヨブと彼の三人の友、エリパズ、ビルダデ、ゾパルは、善悪知識の木の領域にいました。たとえヨブの水準が彼の友よりいくらか高くても、彼と彼らは依然として同じ領域にいたのです。神は彼らをその領域から救い出して、命の木の領域へと入れようとしておられました。神が行なわなければならなかった第一の事は、ヨブをはぎ取り、消耗させ、取り壊して、彼を苦難の下で何ものでもない人とならせることでした。これは、神がヨブを神聖な三一をもって再建する基礎となり、ヨブは新しい人、神の新創造の一部分となって、神の永遠のエコノミーを完成し、神を表現することができるためでした。

OL2:ヨブの基本的な問題は、ヨブが神に欠けていたことでした。ヨブに対する神のすべての対処の意図は、ヨブを減少させて無にならせつつも、彼の生存を保つことでした。それは神がご自身をヨブの中へと分け与える時間を持つためでした。神は一つの事だけを顧慮しています。それは、彼ご自身を私たちの中へと造り込むことです。ピリピ3:8 しかしさらに、私はまた、私の主キリスト・イエスを知る知識の卓越性のゆえに、すべての事を損失であると勘定します。その方のゆえに、私はすべての事で損失を被りましたが、それらをちりあくと勘定します。それは、私がキリストを獲得するためであり。IIコリント4:16 私たちは落胆しません...私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。

なぜ私たちは生ける神と復活の神の区別を強調するのでしょくか? それは、生ける神が人のために多くの事を行なうことができても、生ける神の性質は人の性質とブレディングされることはできないからです。もう一方で、復活の神が働くとき、彼の性質そのものが人の性質の中へと造り込まれます。...生ける神があなたのために事を行なうとき、その行動の後もその前と同じように、彼は依然として彼であり、あなたは依然としてあなたです。...もう一方で、復活の神が働くとき、彼は人のために行なうことによって、ご自身を人に伝達します。この宇宙における苦難の主要な目的は、特に神の子供たちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれることです。...外側の朽ちる過程を通して、内側の過程が起こり、新しい構成要素が私たちの命に加えられます。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

神のエコノミーは、あなたを良い人(good man)にするのではなく、神・人(god man)にします。神・人とは、神で満たされ、神で再構成され、造り変えられ、神を表現し、神を代行する人です。善人主義は、あなたの注意力を、自分をよく見せようとすることに集中させます。しかし神

のエコノミーの中の神・人になることは、あなたの注意力を、神を享受すること、神を大きく表現すること、神を代行することに集中させます。従って、あなたは善人主義の観念から出てこなければ、神のエコノミーの中に留まることはできません。ビジネスライフや研究生活で、あなたは神のエコノミーに留まって、神を享受すること、神を大きく表現すること、神を代行することに注意しているでしょうか? ビジネスライフであなたに苦難がある時、神の目的はあなたがもっと善悪知識の領域から出て、もっと神を享受し、獲得し、表現し、代行することです。苦難によって、あなたの外なる人は朽ちていっても、内なる人は、日々更新されます。ですから、神のみこころを理解して、苦難に落胆しないで、霊を活用し、思いを霊に付けて、キリストのからだに頼って、苦難に対応してください。

ビジネスライフの苦難の中で更新される証し:私は30年以上会社で働いてきましたが、いつも苦難がありました。しかし、苦難の中で内側の更新がありました。

ある時、ある部下がその上司(私の部下)と私を、偽りを持って裁判所にパワー・ハラスメントで訴えてきました。彼女は精神的な病があったので、上司は特に気を使って対応していました。彼女の訴えに、私たちは大変困惑しました。私は、「なぜ主を愛する私がこのような酷い目に合わないといけないのか?」と考え、大きなショックを受けました。会社は、大手弁護士事務所の労働問題に関する専門の弁護士を私たちに付けました。裁判の日、私たちは1時間、裁判官の質問に答えなければなりません。直接の上司は余りにも緊張して答弁ができない状況でしたので、ほぼ100%私が受け答えしました。この午後の一時間に、召会のおもだった3人の姉妹たちに祈るように要請しました。結局、裁判官は、私たちが100%正しいとの判決をくださいました(企業におけるパワハラ裁判では、このような判決は稀だそうです)。私たちがサポートしたベテランの弁護士は、「あなたの答弁は100%完璧な応答でした。長年、企業の労働案件を取り扱ってきましたが、あなたのように完璧に応答できた人を初めて見ました」と言って私を称賛しました。その後、その従業員は全て嘘の訴えであったことを会社に告白しました。このことを通して、私自身、弁護士、裁判官たちの上に、主の素晴らしい御手があったことが分かりました。私自身が祈っていたことは、怒りから解放されて、冷静に事実を根拠に答弁することでした。そして、姉妹たちの祈りを通して、キリストのからだからの供給がありました。からだのサポートにより、主が働いてくださり、このようなキリストの特別な分を経験することができました。主を賛美します!

私が、「こんなことは祈ってもしょうがない」と心の中で言った時は、いつも失敗しました(主にとって不可能なことは何もないのです)。重要なことは主と召会に完全に開き、信頼することだと思います。

祈り:「おお主イエスよ、ヨブの基本的な問題は、ヨブが神に欠けていたことでした。同様に私の基本的な問題も、神に欠けていることです。ビジネスライフで私に苦難がある時、神の目的は、私がおもと善悪知識の領域から出て、もっと神を享受し、獲得し、表現し、代行することであることを知りました。神のアレンジメントに服し、苦難の中でも、不安やつぶやきを祈りに変えて、神を獲得するチャンスとすることができるようになります。アーメン!」

CP3: 神の聖なる言葉をもって再構成されることによって、私たちの思いの霊の中で新しくされ、制御される

OL1: 人を神化し、神のエコノミーを完成し、神の団体的な表現を持つという三一の神の行動は、ミングリングされた霊の中に完全にあります。このミングリングされた霊は、神聖な霊と私たちの人の霊がミングリングされて、一となったものです。ガラテヤ3:14 それは、アブラハムの祝福が、キリスト・イエスの中で異邦人に及ぶためであり、私たちが信仰を通して、約束されたその霊を受けるためなのです。5:25 もし私たちが霊によって生きているならば、霊によって歩こうではありませんか。6:18 兄弟たちよ、私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にありますように。アーメン。

私たちはガラテヤの二つの霊(私たちへの神聖な祝福の総合計としての神聖な霊と、神聖な霊を受けるもの、入れるもの、保持するものとしての人の霊)を尊ばなければなりません。こうして、私たちは自分の霊を顧慮し、霊を活用することによってあらゆることを行なう必要があります。そのとき私たちは、神聖な霊が私たちの中に生きること、私たちの中にご自身のホームを造ること、私たちを造り変えることを経験します。性急に行動することは、アダムの子孫の生活です。そのように生きる人たちは、素早く語り、行動し、人を取り扱います。私たちは、クリスチャンとして、一人だけで行動しているのではないことを覚えていなければなりません。その反対に、私たちはもうひとりの方が行動される中で行動しており、もうひとりの方は私たちが行動する中で行動しておられるのです。このような生活が召会の構成要素です。このような生活は、キリストのからだを生きた状態に保ちます。

OL2: 神がヨブに現れた時、ヨブは神を見て、彼の個人的な経験において神を獲得し、自分を忌み嫌いました。ヨブ42:5-6 私はあなたのことを耳にしていました。しかし今、私の目はあなたを見ています。それゆえ、私は自分を忌み嫌い、ちりと灰の中で悔い改めます。**OL3:** 神を見ることは、神を獲得することと等しいのです。私たちは神を見れば見るほど、また神を愛すれば愛するほど、ますます自分自身を否み、憎むようになります。**OL4:** 私たちは患難のただ中で、私たちの霊に注意し、主を私たちの住まい、また満ち足りていることの秘訣としなければなりません。

OL5: 私たちは、神の聖なる言葉をもって再構成されることによって、私たちの思いの霊の中で新しくされて、神の言葉によって教えられ、統治され、支配され、制御されなければなりません。私たちは主の愛をもって燃えて、主で満たされた感情を持ち、主の家のために熱心にならなければなりません。私たちは、私たちの意志がキリストによって征服され、また苦難を通してキリストをもって造り変えられるようにしなければなりません。それは、私たちの意志がキリストの頭首権に服従するためです。そして私たちは、キリストのとても尊い、清め、純粋にする血によって、正しい純粋な良心を維持しなければなりません。

適用: 奉仕者編

枠組福音を実行する前に、御言葉を祈り読みしてキリストを享受して、満たされてから出ていきます。そうでないと、福音が単なる外側だけの活動になってしまい、残る実を結ぶことができません。ヨハネ15:16 あなたがたが私を選んだのではない。むしろ、私があなたがたを選

んだのである。そしてあなたがたを立てた。それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、FN「あなたがたの実が残る」: 私たちは、出て行って主の中で信者を生み出した後、彼らを顧みる必要があります。最上の方法は、彼らの家庭で集会を設け、彼らを覆い、保護することです。こうして彼らは、養われ、教えられることによって顧みられ、残る実となって、まことのぶどうの木の枝の中で生きます。すなわち、キリストのからだの中で、キリストの増し加わりとなります。

それだけでなく、あなたは奉仕者として、朝毎の食物を読むだけでは足りません。回復訳聖書(フットノートを含む)通読に加えて、ニー全集、リー全集、ライフスタディを毎日1メッセージ読んでください(台湾では3メッセージ/日)。それはあなたが務めの言葉で再構成され、思い、感情、意志、良心が正しくなり、心が良き地となり、多くの実を結ぶためです。マタイ13:8 しかし、あるものは、良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。FN「良い地」: 良い地は、世の往来によってかたくなにされていない、隠された罪のない、時代の思い煩いや富の惑わしのない良い心を象徴します。そのような心は、その土地の隅々までを提供して、御言葉を受け入れるので、御言葉は成長し、実を結び、百倍も生み出すようになります。

兄弟の証し: 聖書とライフスタディを読む中で、良く理解できない箇所があると、次のように祈りました、「主イエスよ、私は学生の頃あまり勉強してこなかったので、思いがあまり訓練されておらず、理解力が弱いです。私を憐れんでください。あなたの知恵と啓示の霊に頼りながら、思いを霊に付けます。私に理解力を与えてください」。このように祈ってから再度読みました。それでも未だ分からない時は、自分の無能さに落胆しましたが、信仰によって再度、罪を告白してから同じように祈りました。このようにして、少しずつ理解するようになりました。聖書と務めの書物を祈りの霊を持って読むことは、私の読解力を引き上げ、Crucial points(CP)を読み出すことができるようにしました。その結果、会社の業務でも、迷路に陥りそうな複雑で何百という項目を持ったProjectを単純化して、CP1, 2, 3を取り出し、アメリカの本社を説得し、日本への投資をもたらすことができました。召会生活の中での訓練によって、自分でも欠点と思っていたところが長所となり、ビジネスの場でも強みとなったことを証しすることができます。

更に、務めの本を読むことで、神の御心を理解し、御心を祈りました。御心を祈ろうとするなら、先ず、自分の願いを十字架に付け、キリストをパースンとしなければならぬことが分かりました。自分の願いを持ちながら神のみこころを祈っても、形式的な祈りになってしまいます。以前は自分の益のために、自分の願いに従って祈っていましたが、主と私は別々でした。しかし務めのメッセージを読んで、自分を忘れて主のみこころを祈る時、また自分と主との矛盾を正直に主に開いて祈る時、人知を超えた平安を感じました。

祈り: 「おお主イエスよ、聖書通読と務めの本を読む習慣を立て上げます。パースンである神の言葉に開き、私の内に豊かに住まわせます。自分の願いに従ってではなく、神のみこころに従って祈ることを学ばせてください」。